

新幹線プレス

2018年2月19日 No.382

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

ベア6,000円・定昇6,000円獲得!

官製春闘を乗り越え、格差ベアを許さず、2018JR総連春闘を闘おう!

第23回定期地本委員会開催

2月18日、新幹線地本は荏原第五区民集会所において第23回定期地本委員会を開催し、当面する春闘を中心とした取り組みに向けての意思統一を行いました。

議長には東京車両所分会の木村委員を選出し、議事が進められました。

冒頭の挨拶に立った成田委員長からは、「官製春闘と言われて5年目になるが、これを打ち破り、格差ベアを許さない闘いをつくりださなければならない。また、34A事故やダイ改での乗り組み体制の変更では、安全を確保するためにもっと議論が必用である。ボーナスカット裁判や年休裁判を通じて組織の強化を勝ち取り、他労組から共感を得られるよう職場での闘いが重要となる。」との提起を受けました。



続いて来賓の本部木下書記長、地本OB会伊藤会長よりそれぞれ激励と連帯の挨拶をいただきました。

質疑では、裁判に関連した闘いの現状や安全問題を中心に発言を受け、当面する闘いの方針を満場一致で確立し、委員会を終了しました。

JR東海に働く全ての労働者の労働条件向上のために2018春闘を闘おう!